

# ぐんま Tech EXPO 2025

日本弁理士会 関東会 群馬委員会

日本弁理士会 関東会 群馬委員会（以下、群馬委員会）では、2025年9月11日～12日にGメッセ群馬で開催された「ぐんま Tech EXPO 2025」に支援機関としてブースの出展とセミナーを実施しました。

都道府県ごとの委員会ではそれぞれの地場企業を知的財産の力で応援すべく、様々な取り組みを行っており、今回は群馬委員会が群馬県の企業や機関における知的財産への理解を深めていただき、知財で企業活動を支援できるよう参加しました。

「ぐんま Tech EXPO 2025」は、群馬県内外の企業が各社の独自技術・製品を提案する展示商談会で、今回は約200社の企業および関係機関が出展。本イベントでは群馬県内の高校生も見学に訪れ、会場は大変な賑わいをみせていました。

## 日本弁理士会 関東会 群馬委員会とは？

日本全国の弁理士が所属する日本弁理士会には、9つの地域会と都道府県ごとの委員会があり、それぞれが地域に根ざした活動を行っています。

# 群馬県内外の企業を知財で応援

## 01 セミナー開催

群馬委員会から、委員長の羽鳥国際特許商標事務所 副所長 弁理士 羽鳥 慎也氏と同委員会委員の久松国際特許事務所 代表弁理士 久松 洋輔氏が登壇し、「AI時代に差をつける知的財産活用術」について講演しました。

今回は知的財産の中でも特許と商標の2つに焦点を絞り、AIとの関わりについて解説を行いました。会場には出展企業や来場者が参加し、熱心にメモを取る様子や弁理士の話に耳を傾ける様子から、知財への関心の高さが伺えました。

久松氏からは「AI時代の特許取得の重要性」と題して、特許を取得することのメリット・デメリットや手続きの流れを説明し、生成AI時代の特許について解説しました。今まで以上に身近な生成AIの台頭により、企画から設計・試作までの初期工程が大幅に短縮され、これまでより早期に競合の商品開発が可能となることから、早い段階での特許取得の重要性を強調しました。

羽鳥氏からは「生成AIを活用した商標戦略」と題し、生成AIを活用した商標の作成方法や、商標調査・出願における実践的な活用方法を解説しました。実際に無料で提供されているChatGPTを使用し、商標のアイデア出しから類似商標の検索までを実演され、会場の参加者も興味深くご観覧いただきました。



Gメッセ群馬で開催



群馬委員会の久松氏



群馬委員会委員長の羽鳥氏



AI×知財についてわかりやすい解説と資料

## 02 ブース出展

日本弁理士会 群馬委員会はブースを出展し、出展企業および機関の知的財産に関する相談を承りました。気軽に相談するハードルが高いと思われる弁理士ですが、ブースを出展することで少しでも身近に感じていただければ幸いです。

また、行政機関として知財支援を行うINPIT（インピット：群馬県知財総合支援窓口）もブースを出展しており、今後も知財に関する支援で連携を図っていきます。



知財に関する相談を承りました



様々な支援機関とともにブースを出展



「ぐんま Tech EXPO 2025」では一人でも多くの方に知的財産に興味を持っていただけるよう、ブースの出展とセミナーを開催しました。今回の展示を通じ、群馬県内外の企業の皆さまに、知的財産をより身近に感じていただけたのではないのでしょうか。

今後も、知的財産をより身近に、そしてその重要性を実感いただけるような活動を行ってまいります。